

山の学習支援事業プログラムの実施例

対象プログラム	No.9 チームワークでサバイバル No.10 森林入門！ No.18 木工クラフト体験
---------	--

学校名	高知市立一宮小学校
学年	5年生
児童数	85人
実施場所	森林学習：学校体育館 森林体験ミッション：高知県立森林研修センター情報交流館および周辺の森林 木工工作：高知県立森林研修センター情報交流館
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑豊かな高知の自然に心を寄せ、森林を守ろうとする態度を育てる。</li> <li>・体験を通して、森林や自然、環境への理解を深め、環境問題について考えようとする態度を育てる。</li> </ul>
実施教科	総合的な学習の時間
関連教科	社会 図工
持ち物	森林学習：筆記用具 森林体験ミッション：軍手、帽子、水筒（首から下げられるものが良い）、長袖・長ズボン（蜂がいる時期には黒色を避けた方が良い）、筆記用具、ホワイトボード 木工工作：作品を持ち帰る袋

実施項目	森林学習
対象プログラム	No.10 森林入門！
所要時間	50分
実施内容	<p>挨拶、高知県立森林研修センター情報交流館の紹介の後、講師が準備したプリント問題に記入する時間を取り、児童同士相談しながら考え今回の学習内容のウォーミングアップを行った。</p> <p>講師はパワーポイントやDVDを使い、答え合わせとともに詳しい説明を行った。高知県や日本の森林率、針葉樹・広葉樹の違いや、森林の役割である木材の生産、土砂を防ぐしくみ、水を蓄えるしくみ、地球温暖化の防止や、生物を育てる働き、海とのつながりなどを学習。</p> <p>その後、講師が持参した針葉樹（スギ、マツ、ヒノキ）と広葉樹（クリ、ビワ、コナラ、ツバキ、ゲッケイジュ）の葉や実に触れ、見た目の違いや手触り、匂いを嗅いでそれぞれの特徴を体感した。</p> <p>生徒の声：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（ゲッケイジュの葉を嗅ぎながら）いい匂い～い！ちぎったらもっと匂いがする！</li> <li>・栗めっちゃ痛い！</li> <li>・（ヒノキは小さな一つ一つが葉だと聞き）えー！！（驚く）</li> </ul>



## 実施風景



実施項目	森林体験ミッション
対象プログラム	No.9 チームワークでサバイバル
所要時間	190分（森林散策 120分、植物の整理・発表準備 40分、発表 30分程）
実施内容	<p>森林学習から1週間後、高知県立森林研修センター情報交流館で現地学習を行った。</p> <p>9班（各10人）に分かれ、仲間と協力して与えられたミッションを行う。ミッションの内容には、たくさんの種類の葉や実を集める、森の色を集める、生き物や痕跡を探す、フィールドビンゴを完成させる、地図のポイントから「ヤッホー」と叫ぶ、発表をする、などがある。</p> <p>各班に1人講師が付き、樹名や特徴などの説明を聞きながら森林内を散策し様々な植物を採集した。</p> <p>2時間程の散策を終え、施設に戻ってからは発表の準備を行う。採集した植物を整理し、見せ方や分類を工夫しながら用紙に貼り付けた。また、発表内容を考え学校から持参したホワイトボードに文章をまとめた。</p> <p>昼食を挟み、午後から各班3分程の持ち時間で、集めたものの紹介や発見したもの、驚いたこと、感想などをプレゼンし、全員がミッションをクリアさせた。</p> <p>発表内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・班で集めた広葉樹、針葉樹の種類</li><li>・トチ木の葉っぱは子供の手の3個分くらいの大きさだった</li><li>・猪が掘った跡や、鳥の羽根、蜂の巣の生き物の痕跡を見つけた</li><li>・どんぐりの種類がたくさんあるのを知って驚いた</li><li>・葉や木の種類を知れて良かった</li></ul> <p>など</p>

実施風景



実施項目	木工工作（木のプランターづくり）
対象プログラム	No.18 木エクラフト体験
所要時間	90分
実施内容	キットを使って木のプランター作りを行った。 釘を打つ場所を決めて印を付け、釘を打つ。最後にヤスリをかけて仕上げた。
実施風景	 

補足 その他、プログラムの特徴	<p>森林研修センターから学校に講師を招聘し、森林に関する事前学習を行った後、翌週に森林研修センターを現地訪問して森林体験ミッションや木工工作を行い森林や自然環境への理解を深めていた。また後日、気付いたことやこれからの生活に役立てていきたいと感じたことなどを一人一人が書きだしてシェアリングをするなど、導入・体験・まとめの流れを作っていた。</p> <p>現地学習では「開かれた学校づくり推進委員会」の委員の方々も一緒に体験し、地域と一体になって環境問題を考えていけるような取り組みにしていた。</p>
--------------------	---